

- ・校務 DX を具体的に進める方針を出します
- ・大きく構えずちよつとずつ、授業で使えるように雰囲気をつくっていききたい。
- ・実物投影機をタブレットで共有する方策はとても良い。
- ・メンチメーターも職員で行ってみたいと思いました。
- ・授業で積極的に活用している授業実践を参観し、地域の方に発信するなど、先生方の意欲が高まるような支援に努めたい。
- ・まず自分が使い方を指導できるよう準備します
- ・講話を聞いて本校で実践できそうなことを検討し、実践したい。
- ・教室の ICT 環境整備 (Apple TV、実物投影機の有効な活用)
- ・今日の講演内容を先生方と共有して、共感したことは実現させる。
- ・クラウドの活用、プチ ICT 活用実技研の実施
- ・まずは自分も使えるようにいろいろ学んで、職員にも広げたい。
- ・実物投影機と端末をつなぐなど、今あるものを少しずつ活用させる
- ・今活用しているものも、その利用頻度に個人差が見られるので、まずは、全員できちんと見て、情報共有を徹底するところから始めたい。

10 全体会

(1) 情勢報告・情報提供

北海道小学校長会	事務局次長	丹野 靖彦 氏
北海道中学校長会	情報部副部長	鏡 武志 氏
北海道小学校長会	研修部幹事	西村 貴史 氏

- ・ 道小、道中の活動について
- ・ 教育情勢全般についての報告
- ・ 教員確保、教員採用について
- ・ メクビットについて
- ・ 役職定年後について

(3) 「宣言文」採択

日高地区校長会事務局次長 佐藤 正寿
(様似町立様似小学校長)

<取組スローガン> 「一人ひとりの心に届く取組の推進」

- 重点項目 ① 重大事故 (わいせつ・金銭事故・飲酒運転等) の根絶
 ② 体罰の根絶
 ③ 各種ハラスメント (パワハラ・セクハラ等) の未然防止

11 閉会式

日高地区校長会会長の挨拶で閉会